

態にすることは、難しい状況にあります。

そこで、災害の危険性を少しでも理解してもらうために、平成17年に「美祢市土砂災害危険箇所マップ」をつくり、危険箇所に住まわれる住民の方にマップをお配りしました。

さらに、今年の6月に「美祢市防災ガイドブック」をつくり、これは市内全世帯にお配りしました。また、大雨や集中豪雨のとき、災害が発生または災害が発生するおそれがある場合には、山口県や気象台と協力し、この地区に避難指示や避難勧告を出せばよいかすばやく対応できるように準備をしています。

もちろん災害が発生したことを想定した防災訓練も定期的に行っています。昨年は美東町大田地区を対象に行いましたが、今年9月に伊佐地区で総合防災訓練を行う計画をしています。

このように、市役所も防災対策に一生懸命取り組んでいます。災害発生時には、市民の皆さんお一人おひとりが、冷静かつ迅速に対応出来ることがとても大切でありますので、常日頃からそのための準備と心構えをしていただき、非常時に備えていただきたいと思います。

本郷小学校 内山敬太議員

安全、安心な通学路にしてほしい

Q 毎朝、秋芳町のりんどうの丘から、学校へ登校するとき、信号のない横断歩道を通っています。その際、交通量が多く、しかもどの車もスピードを出しているため、怖い思いをしています。押しボタン信号機を設置し、安全で安心できる町にしてほしいと思います。

A 市長答弁

確かに、この場所は交通量が多く、道路の幅も広いいため、歩行者が横断するには押しボタン式の信号機が必要だと思っております。ただし、信号機は、警察署が責任をもって設置する仕事であります。したがって、信号機を設置するためには、警察署にこの場所に信号機をつけてくださいと要望をして、認められれば信号機がつくこととなります。

そこで、市でも早くつけてもらうようお願いしているところですが、山口県内には信号機が必要となるところがたくさんあるので、なかなか順番が回ってこないため、まだ実現はしておりません。議員が心配されているように、交通事故が起きてからで

ている携帯電話ですが、その一方で議員が言われるように、子どもが携帯電話をもつことは、使いようによっては思わぬトラブルに巻き込まれる心配があることも事実です。

現在、市役所や総合支所、公民館などの公共施設には公衆電話があり、お年寄りの方々が多数通院されている2つの市立病院にも公衆電話が



は遅いですが、本郷小学校の皆さんと地域の皆さんの強い要望が1日も早く実現するよう、引き続きお願いしていきたいと思っております。

田代小学校

河内 和議員

山間地域の交通網のあり方について

Q 美祢市内には田代地区のよくな交通の便が悪い地域がたくさんあると思います。定期便の整備、道路の整備など山間地域の交通網の在り方について考えてほしい。

A 市長答弁

乗客数が極端に少なく、運賃による収入も少ない路線は利益が少ないので、鉄道会社やバス会社が定期便を運行することは会社経営の観点から非常に難しいという現実があります。

そこで市は平成21年度から、そのような交通不便地域においてミニバスの実証運行を開始しました。このミニバスの運行は、10人乗りの小さなバスで、東厚保町山中地区、伊佐町堀越地区と美祢駅や市役所、市立病院などの市街地を結び、買い物や通院など

あります。公衆電話の設置者である西日本電信電話株式会社（NTT西日本）では、携帯電話の普及に伴い、利用者の少ない公衆電話は撤去する方針であることをお聞きしていますが、たくさん市民の皆さんが集まる場所の公衆電話は、子どもからお年寄りの方までが不自由なくお友達や家族の方に連絡できるように引き続き残していただくよう働きかけたいと考えております。

下郷小学校

田飼瑞季議員

美祢市の子どもの増やす対策について

Q 美祢市は子どもが少ないです。人数が多い方がちがった意見や考えを聞く勉強もでき、学校生活が楽しくなると思います。子どもを増やすために、下郷地区に住む場所を増やすことや美祢市内に働ける場所、農業で生活できる環境を整えてほしいと思います。

A 市長答弁

市では市営住宅を市内の42箇所建設して住民の方々に住まいの場を提供しています。新たに市営住宅を建設するためには、その住宅のた

に使っていただくという、交通不便地域にお住まいの皆さんへのサービス向上を目指した取り組みです。このミニバスは、電話予約1本で家の前までお迎えし、1回の運賃はどこまで乗っても300円で、利用される方々から好評をいただいていますので、今年度から本格的に運行する予定です。

市内には、これ以外にもまだまだ交通不便地域があります。今年度はさらに、美東地域北部でもミニバス実証運行を開始し、毎年、着実に電車やバスなどの利用が困難な交通不便地域にお住まいの皆さんへのサービスを拡大していきたいと考えています。

重安小学校 利重一成議員

JR美祢線は今後はどうなるのか

Q 今年、重安の石炭輸送がトラック輸送に代わりました。貨物列車がなくなり美祢線は今後どうなっていくのか心配です。

A 市長答弁

JR美祢線は、美祢市民だけでなく、山陽と山陰を結ぶ大切な役割を担っているのに、北に位置する長門市や南

めの土地を準備したり水道を準備したりしなければなりませんし、その場所の交通の利便性も考えなければなりません。残念ながら現時点では岩永下郷地区へ市営住宅を建設する計画はありません。しかし、市では市営住宅を建設する方法以外の方法で市民の方へ住宅を提供することで人口を増やすことに取り組んでいます。具体的には、市内に空き家を持っている方に空き家の場所や広さなどを市に届けてもらいます。市はその空き家の写真などをホームページに掲載し、秋吉台や秋芳洞等の情報とともに全国に発信します。ホームページを見た空き家を利用したい人が市へ連絡してもらつと、市は空き家を貸したい人と連絡を取って、空き家を借りたい人を紹介するものです。市営住宅のように一度にたくさんの方が住むことはできませんが、少しでも市外から美祢市に住む人を呼び込んで、市の人口を増やしたいと考えています。

次に、働く所ですが、美祢市には機械やセメントの原料などの物を作る製造業の会社や工場が50社あり、約2,500人の人が働いています。また、色々な商品を売るお店が約500軒あり、約2,000人の人が働いています。そのほかに工場を建設するための敷地として工業団地

の山陽小野田市の皆さんの生活にとってもなくてはならない鉄道であり、JR美祢線沿いで生活する私たちにとっては、非常に重要な交通機関です。

近年は、自家用車にばかり頼る状態から、バスや鉄道などの公共交通機関をかしこく使う方向への転換を勧める、モビリティマネジメントという比較的新しい考え方が普及しつつあります。使い勝手の良い自家用車を使いすぎる、二酸化炭素の排出による地球温暖化をはじめとする環境破壊や、健康被害などの社会問題をもたらすことにもなります。これらの社会問題の解決とともに電車やバスなどの地域の公共交通を守るためにも、JR美祢線やバス路線、市が交通不便地域で運行しているミニバスなどの利用を勧めるための働きかけを行うことを考えております。

秋吉小学校 廣中菜々子議員

公衆電話をもっと増やした方がいいのではないのでしょうか

Q 子どもやお年寄りのためにも、公衆電話をもっと増やした方がいいのではないのでしょうか。

いつものが市内に4箇所あり、全国の会社に美祢市内に工場を造ってもらい美祢市の人をたくさん雇ってもらつようをお願いしています。また、市にはいろいろなきまり（条例とか規則といいますが）があります。今年中に新しいきまりを作つて、美祢市に工場がいつぱいできるような方法も考えています。

農業につきましては、美祢市では、農業をしているほとんどの人はお年寄りで、若い人が農業をしている農家でも他の仕事をしながら農業をしている人がほとんどです。その理由は議員が言われるとおり農業だけでは生活できるだけの収入がないからで、もつと農業で収入を増やすための方法が必要だと考えています。

そのためには、小さな水田を1つにまとめ大きな水田にしたり、大型のトラクターやコンバイン等の機械を使って効率化を進めたり、1つの農家が広い面積の農地で農業をすることも大切になってきます。市では、農道や水路等の整備を進めていますし、地域の農地を集落のみなが1つのグループになり助け合つて農業をする仕組みを作ることに取り組んでいます。この仕組みが市内に広まれば、きつと農業も魅力ある職業となるものと考えております。